

1－2. 共同調査研究

⑥都市環境の保全、育成、創造に関する調査研究

平成28年度、グリーンビジネスマネジメント共同研究会では、次の調査研究を実施した。

1. 講演会の開催

第1回

<講師> 色彩計画家 加藤 幸枝 氏

<演題> 「緑を活かした景観づくり・街づくり…地域や都市ごとの個性を活かす色彩の提案」

日時：28年5月31日（火）／ 場所：都市緑化機構 会議室

第2回

<講師> 独立行政法人都市再生機構住宅経営部保全技術チーム 小野 健太郎氏

<演題> 「集合住宅の緑など屋外空間のリノベーションについて」

日時：28年7月26日（火）／ 場所：都市緑化機構 会議室

第3回

<講師> The Davey Instituted/o USDA Forest Service 平林 聡 氏

<演題> 「i-Tree Ecoによる樹木の生態系サービスおよびその貨幣価値の推定」

日時：28年12月14日（水）／ 場所：高橋ビル 会議室

2. グリーン・コミュニケーション部会

①緑など屋外空間のリノベーションに関する研究

我が国の公園緑地の整備については、他のインフラ同様、その多くを行政主体により蓄積されてきたが、経年による素材劣化、空間の役割の陳腐化した公園緑地の増加、維持管理の修繕では対応しきれないもの等、大規模な再整備（リノベーション）が必要となってきた。今後、需要が増える緑の屋外空間の更新、再整備事業に備え、参考となる事例やそれに伴う技術を整理することを目的に、今年度はまず事例収集を実施した。

②「緑のキキメ」普及版の作成

一昨年度作成した「緑のキキメ」について、「春の都市緑化推進運動期間」（4月～6月）、並びに「都市緑化月間」（10月）に、国や地方公共団体の催事などをおいて幅広く配布するため、一般財団法人 日本宝くじ協会の助成金を活用し、普及版パンフレットを5万部作成した。

3) 雨水貯留・浸透・利用部会

- ①グリーンインフラの要素技術である雨水貯留浸透基盤の普及促進を目的として、J・ミックスを使用した雨水貯留浸透基盤を導入した雨水貯留浸透施設の標準図集を完成させた。
- ②横浜市のグランモール公園の「美術の森地区」におけるJ・ミックスを使用した雨水貯留浸透基盤の設置による雨水貯留浸透効果と微気象改善効果を2008年6月～8月に観測し、観測結果を日本緑化工学会誌に投稿し、第42巻第3号（平成29年2月刊）に掲載された。
- ③国土交通省の国庫補助事業「平成26年度先導的都市環境形成促進事業」に採択された「雨水貯留浸透機能を高度に有する植栽基盤の技術開発」によって植栽したクスノキ2本の生育状況を経過観察した。

4) おもてなし緑化部会（緑化製品・工法部会）

- ・27年度のオリンピックマラソンコース（予定）の暑熱環境調査結果を活用して、モデルエリアとして浅草雷門周辺の緑化計画を検討した。
- ・しかし、地元の商店会、自治会等に参画してもらうため台東区の協力を依頼したが、調整が捗らず、部会のみでのプラン案作成に終わった。